

1. 件名：「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 高速実験炉原子炉施設（「常陽」）の設置変更許可申請のうち地震等に係る事業者ヒアリング（16）」
2. 日時：令和4年8月22日（月）10時00分～10時55分
3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室
4. 出席者 ※：テレビ会議システムによる出席  
原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門  
岩田安全管理調査官、江崎企画調査官、三井上席安全審査官、永井主任安全審査官、松末技術参与、馬場係員  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 建設部 次長 他7名※  
同 大洗研究所 高速実験炉部 次長 他4名※  
同 安全・核セキュリティ総括本部 1名※
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. 提出資料  
・大洗研究所(南地区) 高速実験炉原子炉施設(「常陽」)  
耐震重要施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について  
(「常陽」主冷却機建物周辺における地盤改良の試験施工及び解析用物性値)

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	御説明の方からお願いしたいと思います。
0:00:04	原子力コンサルティング資料の方ご説明させていただきます。本日につきまして資料上の集客建物周辺における地盤改良の試験施工及び解析用物性値についてご説明させていただきます。
0:00:19	資料の方、4 ページ目をお願いいたします。
0:00:26	地盤改良に関するコメント今までの会合の中で何点かいただいております。コメントナンバーでいくと 20 番と 21 番。
0:00:34	ですね、こちらのコメントもあわせて 24 番の方でコメントさせ、回答をさせていただきたいと思います。前回 5 月 30 日の会合の時には
0:00:46	中間報告をしてきてくださいという、
0:00:50	いう発言だったかと思いますがちょっと表現の方を修正させていただきます。地盤改良の試験施工を実施してその施工の成立性及び解析物性値を示すことというちょっと表現を修正させていただきます。ちょっとこの辺もしコメントあれば
0:01:05	後程お願いいたします。お願いいたします。
0:01:08	5 ページ目が今回の回答の趣旨になっております。下の方ですけれども、
0:01:14	今回地盤改良を行いまして、試験、施工の成立性を確認いたしました。また解析用物性値についても改良体の物理を設定しましたのでその内容についてご説明いたします。
0:01:27	6 ページ目が全体の目次になっておりましてこの内容についてご説明させていただきます。と思います。
0:01:34	あと 7 ページ目です。
0:01:36	こちらが地盤改良の全体のフローをお示ししております。
0:01:40	シリカ計器建物周辺地盤については地盤改良を
0:01:44	をした上ですでに安全率を確保するという方針をしております。設置許可段階におきまして、改良体の物性値、あと改良の範囲を設定しまして、
0:01:55	安全率を評価して、許可、
0:01:58	への適合を確認するとする方針としております。また次分解能につきましては地盤、年冷却タイム周辺での施工試験施工を行いまして成立を確認して、
0:02:10	会議体の物性値を設定するという方針をし、
0:02:16	にしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:18	本日ご説明するのはフローの中の下側のところ、1、1 ポートにこれ、資料の目次番号と対応していますが、地盤改良の施工成立性の確認と、
0:02:29	いう内容を説明させていただきます。
0:02:32	あと、遠い位置ポスターの解析を物性値。
0:02:36	ですね次回につきまして改良体の範囲、あと、それを踏まえた滑り安全性、
0:02:44	安定性の評価の結果についてご説明させていただきたいと思います。
0:02:49	また、この許可段階まではこの内容になりましてまた設工認段階に行きまして、詳細設計として改良体の仕様、あと品質管理部も項目を設定、
0:02:59	した上で本施工をして実際の品質確認を行っていくというこの全体の流れを地盤改良のフローというふうにしてございます。
0:03:11	では、続いて9 ページ目をお願いいたします。
0:03:16	こちらは地盤改良の成立性にあたってのよ。
0:03:19	要求性能の整理、
0:03:21	でございます。
0:03:22	地盤改良。
0:03:24	事例建物については、
0:03:27	一番改良を行うという方針でございまして地盤改良の工法につきましては、滑り抵抗を向上することができる固結方向から、深井施工振動に適用でき、
0:03:38	既設設備の影響は小さい広報室として高圧攪拌工法を選定しております。
0:03:44	また高圧には攪拌工法については他の原子力施設での実績があるというところでございます。
0:03:51	あと下の図は左側が地盤改良で要求、
0:03:54	性能を整理したもの。
0:03:56	地盤、右側の方は地盤改良の工法の種類と適用地盤効果というところで、今回は高圧車拡販候補。
0:04:05	を採用したということもでございます。
0:04:11	続きまして10 ページ目です。
0:04:14	こちらは施工時能が課題抽出ということで整理をしております。
0:04:20	これ常陽地点、シリカ建物の周辺地盤における、
0:04:25	地盤改良の要求品質を確保する上で、
0:04:29	今までられている市の知見や他の原子力施設の実績等を踏まえた、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:34	地盤改良の工法の課題、特異性というのを整理しております。
0:04:39	ここでは既往の知見から十分適用可能であると考えことは特異性が無い。
0:04:44	ただし、それ以外は得意であるというふうな整理をしております。
0:04:49	下の表ですけれども、今回の地盤改良系施工上の課題として大きく三つ挙げてございます。
0:04:55	(1) のところで地盤への適用性、こちらは改良する地盤に一部硬い層がありますので、
0:05:03	ここでの攪拌不能や改良系の不足がないかどうかと。
0:05:07	いうことを確認する必要があるということです。
0:05:10	あと (2) は大深度で、今回改良対象層が、深度 30 メートルと深いのでそこへの適用性がどうかと。
0:05:17	いうところです。
0:05:19	あと (3) の季節埋設物につきましては、
0:05:22	こちらのパイル範囲が 13 メートル深い範囲での、
0:05:25	施行となりますので埋設物が存在してる範囲となりますと、
0:05:29	なお、建物周囲の浅い位置には、共同行為や規制と埋設物が敷設されていますが、こちらは施工上のロット配置の調整により、干渉なく施工できると。
0:05:41	いうものでございます。上の二つにつきましては、
0:05:45	特異性とありと評価しておりまして、これらについては一般産業施設での実績というものは十分ございますが、当該地盤での適用性を確認する必要があると。
0:05:56	いうところから特異性ありというふうにしておりまして、
0:06:00	主にこの二つ溶着安定において、この試験成功を実施したというものでございます。
0:06:07	あと 11 ページ目が試験施工の検証で、世古地盤改良手順ですが、こちら一般的な
0:06:13	高圧御社攪拌工法の定義を示しておりまして、試験施工でも今回同様の手順で実施したというものでございます。下の写真の方に
0:06:23	今回の試験施工での実施状況の写真をお示ししております。
0:06:30	続きまして 12 ページ目お願いいたします。
0:06:34	試験施工の概要になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:37	あと試験施工につきましては、建物周辺は地盤が水平成層で堆積していることも踏まえまして施工ヤードを確保できる。
0:06:47	東側で、あとかつ本
0:06:51	施行の19市の市で実施しております。
0:06:54	3ヶ所実施しております内2ヶ所ラップする形の配置で施工して、
0:06:59	実施をしました。
0:07:01	と改良本施行と同じ深度。
0:07:04	改良体を贈呈して改良体の範囲や改良体の経緯を確認したというものでございます。下の図に配置図をお示ししまして、しておりますが見
0:07:13	水色のところが、金本番での本施行での想定している改良範囲。
0:07:19	それを避けるか1で
0:07:22	試験施工を行っております。
0:07:26	下の表ですけれども、工法が高圧の攪拌工法で、あと対象層は今回3ソガ現地盤でございますのでこの3層を対象に、
0:07:36	行っております。目標と改良系は4メートルから5メートル、改良深度が、GLから28メートルから、
0:07:44	13メートルの範囲での、
0:07:46	施工を行っております。
0:07:48	確認項目としましては、施工、施工整理性の確認としては、熱電対やボーリングコアに用いて、用いた改良範囲の確認を行っております。
0:08:00	あと、
0:08:01	はい。解析用物性値のために物性試験ということで、一通りのですね、物理物理化学試験を行ったというものでございます。
0:08:10	黙って真ん中の、
0:08:12	この施工範囲配置平面図というのがございましてこちら側の、
0:08:17	改良体に対する
0:08:20	各計測系の位置を示しております。黄色の丸が熱電対。
0:08:25	青四角がボーリングの実施位置になっております。
0:08:29	SEにつきましては4メートルから4.5メートル位置での観測。
0:08:35	となるように配置をしたというものでございます。
0:08:38	あと右側の断面図ですがこちら側の、
0:08:41	現地盤地層と今回の試験施工の地盤改良の範囲の関係を示しております。
0:08:48	下端が、GL-28メートルから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:52	あと 13 メーターということで 3 層を対象に改良したという内容になって ございます。
0:08:59	13 ページ目からが結果になります。まずこちらは熱源というのを、結果 になりまして、
0:09:06	ネツエンツイでは地中の温度変化を測定しまして、
0:09:10	相対濃度 T E M から改良地盤改良の改良範囲を確認してございます。
0:09:18	井川の方は左側ですね左側の方に羽根店という位置を示しております。
0:09:24	右側の表が改良体に対して、0 がーと。
0:09:29	到達を確認して要は温度変化が確認できたもので×が到達を確認できな かったというものを仕切りを表にまとめておりまして、
0:09:39	結果から 4 メーター-4.5 メーターにつきましてはいずれの、
0:09:43	観測点においてもすべて小課題の到達を確認しております。
0:09:49	5 メーター系につきましては、一部で確認できた程度にとどまっている という状況になってございまして、
0:09:56	試験施工の結果からは、配慮台の形としては 4.5 メーターが確実に施工 できていると、いうことを確認してございます。
0:10:07	続きまして 14 ページ目お願いいたします。
0:10:10	14 ページ目では、ここボーリングコアの確認結果でございます。
0:10:14	ボーリングコアにつきまして右側の方に示しております青の四角の部分 で実施した中心法中心位置のところと、
0:10:23	あと、
0:10:24	北-A の 2 行のところは 4.5 メーター位置でのボーリング。
0:10:29	を行っております。
0:10:31	確保の確認からは、液オオイ含めオオイ範囲を含めて全深度について連 続的なコア採取ができておりまして、また改良範囲を進藤、
0:10:42	坂下目視確認あとフェロー2 人反応による固化材の今後状況を確認しま して対象層が改良されていると、いうことを確認しました。
0:10:52	また 2 のところはこれ、あの形で 4.5 メーター位置になりますが、こち らについても、他の号と同様に改良されていると、いうことを確認いた しました。
0:11:02	15 ページ目が、ここまで地盤改良試験施工のまとめになりますが、
0:11:09	確認結果のところと。
0:11:11	と。
0:11:11	改良対象は酸素を行います確実に改良できることを確認しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:17	範囲につきましても、震度は2位、-28から-13メートルに対して確実に改良できていることと、
0:11:25	いう事あと改良系につきましては4.5メートルが施工できると。
0:11:29	いうことを今回の試験施工、
0:11:31	で確認しまして常陽、市冷却周辺地盤での地盤改良の施工が可能であるということを確認したというものでございます。
0:11:43	続きまして16ページ目以降からが本
0:11:46	今度解析物性値の設定になります。
0:11:50	17ページ目ですが、
0:11:53	これ解析用物性値の
0:11:56	設定方法についてを示しております。
0:11:59	まず強度特性につきましては、改良する地層から採取した試料を用いて、しない配合試験を行いまして、そこで目標強度を設定しました。
0:12:10	その目標共同解析を物性値というふうに設定してございます。
0:12:15	あと物理特性変形特性につきましては、目標強度がえられることが確認された試験施工の改良体から採取したコアを用いた、
0:12:23	信頼試験結果から最低するという方法を、
0:12:28	とってございます。下の表に各、
0:12:32	試験方法とあと、
0:12:35	強度特性について配合試験、
0:12:37	物理変形については、改良体の、
0:12:41	これを用いた試験で行ったというものを示しております。
0:12:45	あと18ページ目ですが、
0:12:49	ここの、
0:12:50	強度特性の設定方法についてご説明いたします。
0:12:55	共用特性につきましては、まず
0:12:59	キャプション中の①ですけどまず酸素、今回対象層ございますがそこで1時間試験を実施しまして、
0:13:07	その中で最も小さい値となりました、砂そうですねMU。
0:13:13	SII層、こちらが一番小さい値になりましたので、こちらの資料を用いて、
0:13:20	3軸圧縮試験引張試験を行っております。
0:13:25	この結果を用いて、解析を物性値に設定しているというものになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:31	また引張試験につきましては、右側の
0:13:35	下の右側の方ですけれども、
0:13:37	しっかり試験の結果からは 0.438 という結果がえられてございますが、
0:13:42	こちらにつきましては、文献、建築センターの方で
0:13:47	張り強度の上限値というのが示されておりまして、それが 0.3 になりますんでそこを上限値、
0:13:53	に保守的に設定をするという設定をとってございます。
0:13:59	今度 19 ページ目からが、
0:14:01	共同作成につきましては、実際の改良体と。
0:14:07	設定したのを室内は 5 設定してございますんでその差がどうだったのかというのを確認した内容になります。
0:14:14	で、下の図ですが設定した、
0:14:17	特性というのは赤色の、
0:14:20	東京で高い路線になっておりまして、実際に現地から撮った資料を用いた試験が黒の線になってございます。
0:14:29	この結果からの各そうですねめど。
0:14:32	しなそう礫層 3 層につきましていずれも設定した。
0:14:36	積分政治が、
0:14:40	現地の方が十分強度がえられていると、いうことを確認してございます。
0:14:45	あと引張強度につきましても同様に、
0:14:48	現地が設定した物性値以上の与えていると、いうことを確認しました。
0:14:56	と 20 ページ目が、
0:15:00	今度一軸圧縮試験による確認です。
0:15:02	こちらにつきまして対応体の品質確認につきましては、
0:15:06	一般的に一軸圧縮強度で管理するということが示されてございますので、
0:15:12	ここで今日動特性と、
0:15:15	一軸圧縮強度の相関関係を志田平尾式に算出。
0:15:19	してきてございます。設定した強度に対する一軸圧縮強度は 4.2。
0:15:25	いうことを確認してございましてそれと、
0:15:29	あと右側の下の右側の方ですが、実際の現地から撮った、
0:15:35	衛藤。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:36	資料、改良体から取った資料を用いた医事課試験との関係を示してございますが、
0:15:42	設定した4点に、
0:15:44	以上の
0:15:45	与えられていると。
0:15:46	ということで、解析の分析上の
0:15:50	強度が現地と、
0:15:51	改良体で施工されていると。
0:15:54	いうことを確認してございます。
0:15:57	21ページ目が、こちらの今度物理特性と変形特性になります。
0:16:03	こちらにつきましては、
0:16:04	試験施工の改良体から採取した資料を用いて、
0:16:08	各種試験を行っております。
0:16:11	あと物理
0:16:12	特性変形特性。
0:16:15	あと、
0:16:16	変形特性のうちの静的変形特性圧倒的変形特性、P S 検層の結果、
0:16:23	になります。
0:16:28	22ページ目が解析用物性値のまとめになります。
0:16:33	今日動特性につきましては改良体から、
0:16:36	改良する、地層から採取した試料を用いたですね配合試験、
0:16:41	による目標強度を設定してそれを解析を物性値に徹底をしております、またその試験施工により設定した強度が確保できていると、いうことを確認してございます。
0:16:52	次特性変形特性につきましては、試験施工の対応等から最終ところで設定したというものになります。
0:17:00	下の一覧表が実際の解析に用いる物性値の一覧になります。
0:17:09	23ページ目が、全体のまとめになりますが、
0:17:13	一つ目のポツとしては、試験施工によって地盤改良の施工可能であるということを確認してございます。
0:17:21	あと二つ目のポツは解析用の物性値について、各種試験を行いまして設定をしたというものです。
0:17:30	この本施行にあたってですが、大量の強度特性を品質管理項目として、その品質管理継続項目管理については設工認段階において、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:41	品質管理方針を示した上で実施するということとしたいと思っています。
0:17:47	本編の資料は以上になりまして、以下が参考になります。参考資料になります。
0:17:53	24 ページ目からは
0:17:56	飲食精製一般施設の地盤改良の施工事例ということで、こちらの詳細は説明、省略させていただきますが、原子力施設での地盤改良実績あと一般産業施設でも、
0:18:09	十分な施工実績があるというものを示しております。
0:18:14	あと 29 ページ目が熱電対の測定結果というところで、本編の方で丸とバツを表でまとめておりますが
0:18:24	根拠となる実際の観測の結果をお示ししたというものでございます。
0:18:31	後の説明は以上となります。
0:18:34	はいありがとうございます。規制庁側から確認事項があれば、適宜お願いします。
0:18:41	はい。角ナガイですがまず紙資料、本日の説明外のところで確認をさせてもらいたいんですが 7 ページのところ、
0:18:50	次回の説明というところで、滑り安全率とセットで改良範囲の設定ってあるんですけども、
0:18:56	これ、どういうお考えでこれをセットにして議会としてのか、簡潔に。
0:19:02	事実を教えてくださいませんか。
0:19:09	はい原子力を説明すると、
0:19:12	今回でも物性値まで設定させていただいて、それが概ね妥当だということであれば、その結果を踏まえて、範囲と、その
0:19:22	そういう結果を踏まえた評価をするという流れで整理をしたところでございます。
0:19:30	ナガイですけども、そこはつまりこの二つが連携していると、いわゆる滑り安全率を評価しつつ、せ、施工範囲を決めるといった考えでいらっしゃるってことですかね。
0:19:43	はい、はいその通りです。
0:19:45	はい、長井です。わかりました。あとすいません。合田辻と阿藤。
0:19:52	正規名称で書いた方がいいところで先に言わせてもらいますが 14 ページの下の説明で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:59	下から2行目の括弧で深津改良版を書いているところで、最後メートルが抜けております。
0:20:10	原子力を説明申し上げます。はい。修正させていただきます。はい。あとですね
0:20:17	すみません、飛ばしましたところだけ、
0:20:21	9ページの方でも、2行目の頭の方、広報の2が抜けているんじゃないかと。
0:20:33	この二つでよろしいですか修正の方。
0:20:37	はい。了解しました申し訳ありません。修正させていただきたいと思えます。
0:20:42	あと、2ヶ所まとめて2526ページで、頭に施設名は書いてますけどもいずれもこれ原子力発電所ってのは正式名称なんです。
0:20:52	その他のページも含めてですね施設面はできるかに請求してください。
0:21:00	はい。すみません減って、承知しました。
0:21:03	何かまず外枠とそういう脱字関係の方で1回終わって私は聞かせてもらいます。
0:21:12	建設部J A ナカニシですが、
0:21:16	21ページの物理特性のところについても湿潤密度の単位がちょっと動きになってますので、そちらもニュートン系ではなくて
0:21:25	グラム形で修正させていただきたいと思えます。
0:21:40	規制庁の矢崎ですけども、
0:21:43	17ページ、
0:21:45	に書いてある表で見ていただくと、
0:21:50	共同特性、
0:21:52	物理特性変形特性とそれぞれし、
0:21:56	室内配合試験と、試験施工等分けて
0:22:02	解析用物性値を取得する。
0:22:04	ということで変形試験とかは、基本的にはP S 検層で測りたいということがあれば、施工試験しかないんですけど、
0:22:11	強毒性は
0:22:13	うん。
0:22:14	そもそもなぜ
0:22:18	この室内配合試験の方を取ったのかっていう理由をお聞かせください。
0:22:28	はい。現職のセシモです。今日特性につきましてはやっぱり

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:33	事前の配合の中で目標共同を設定して、
0:22:37	それが元気で、
0:22:39	それ以上確保するというところが、
0:22:42	大沼。
0:22:43	設計の考え方というところにおいて、
0:22:47	なのでまだ、
0:22:49	その目標値とする。
0:22:51	この解析を物性値に設定したという。
0:22:54	本でございます。
0:22:57	1人だけです。多分あれですよ
0:23:00	目標値であって実際にそれを超えるというものはその一つの安全余裕と いうことで考えているので、設計としてはその一番、
0:23:10	設計結果に影響を与える。
0:23:14	共同結果に関しては保守的に安全側の数字として目標値というものを設 定していると。
0:23:21	ということなんでそれを解析用物性値設計を物性値として、
0:23:25	は
0:23:28	何ですか、適用してるっていうんですかね、そういった形になってると いうふうに、
0:23:35	理解できますがそれでよろしいですか。
0:23:39	印象構成すいません今おっしゃっていただいた通りですはい。
0:23:45	規制庁江崎ですがそれですね
0:23:49	今の話で大体それは筋書きとしてはわかるんですけども、
0:23:54	それで、
0:23:57	そもそもこの
0:23:59	京都市市外配合試験と、この
0:24:03	試験施工、
0:24:04	と、例えば、配合とかそういったものは一緒だ、当然でしょうけど、一 緒なんですよ。
0:24:13	原子力のセシモです。配合一緒です。ただあの形を確保するためには分 車両が、
0:24:20	どうしても現場の方が、
0:24:22	フェイ車両で決まってしまうところがあって、その分は若干現場の方が
0:24:28	実際の運転所か、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:30	課題が多く入っているという、そういう実態がございます。わかりました。ただ目標としては
0:24:36	混合率という考え、考え方で風車率で、
0:24:41	だからそういうことも、室内配合試験ではどっちかちゅうて値に近いと思うんですけど、そういったものと、でも、考え方配合仕様のには一緒っていうふうに考えられるんで、
0:24:51	今後ですね、会合資料として必要かというところでもないと思うんですけど、配合飼料に関してはですね、
0:25:01	我々の運用説明する、申請書、書類にはそれは入れた方がいいと思うんですけど、いかがでしょうか。確か東北でも書いてたような気がするんですけど。
0:25:18	原子力を指しますが、最後、すみません配合飼料使用と言いますと、具体的な水セメント費用、
0:25:25	どの程度にするかとか、はい。確かそんな記載があったと思いますが表になったと思うんですよね女川の、
0:25:33	資料ってのは、まだ見られてませんか。
0:25:38	こちらの設置許可カー施行にも見っていますが、この設置許可にはそこまで
0:25:44	詳細帰ってなかったんじゃないかなという記憶がございますてちょっと、
0:25:50	どの程度書くかなというのはちょっとかなりですね後任の方は書いてると思うんですよ。ただ、それはうちが100歳ご報告見てるんで、
0:25:57	うん。
0:26:02	J A 建設部ナカニシですが、女川の資料ですと設置許可で
0:26:07	強度を約束して、設置許可の中で品質確認方針については後段で確認して方針を設定した上で、
0:26:17	確認していくっていう、方針が地盤の3章のところに書かれていて、
0:26:23	後で後段規制のところをそこを引き継いで、方針の方を示して、具体的な例えば1軸等粘着力の相関関係とか、ああいうところの図であったりというのが設工認の中で、
0:26:36	具体的に示されて、一軸と、あとは抜き取りで3軸の試験をやるというのが設工認段階で書かれていると。
0:26:44	いう流れをこちらでちょっと今認識してるんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:02	施設をいう時です。ただ、そうね。ちょっと違うなと思うのは、所の場合は基礎地盤の安定性、
0:27:10	という観点で、改良地盤が必要になるわけですよね。で、一方で、女川何かっていうと、
0:27:17	設置許可でいうと、
0:27:19	四条の耐震設計方針、液状化影響とかですね。
0:27:24	それと伴ってその五条の耐津波設計方針、
0:27:29	津波防護の観点で必要になってくるので、基本的にそれって、いずれも早期機能保持の確認っていうのは、にて行われる、確認されれば審査されるわけですけども、
0:27:42	それが今回に関しては、三条という観点で、
0:27:46	別に原子炉建屋の女なんていうんでしょう。
0:27:49	中の地震応答に関するきたよ、機能要求、
0:27:55	に対しての必要性があるわけではなくて、あくまでも、あくまでも、
0:28:01	そう。うん。
0:28:03	滑り安定性、要は基礎地盤の安定性としてですね、
0:28:09	地盤改良が必要になるからちょっと枠組みがちょっと多少違うんじゃないかと思いますがいかがですか全く一緒にならないと思うんですよね。
0:28:20	すいませんなんで、何をこう言ってるかっていうと、地盤は安定性は購入なんかではやらないはずなんですしとなる鉛直支持力とか、ごくたまにそう。
0:28:31	建物とか後から新設で作って余りにも重量が変わったりしたらそこ工認で確認せざるをえなくなってきて、やることはありますが、基本的には、条文にないんですよね。
0:28:43	公印が技術基準の方では、だから、
0:28:48	確認するとしたら、どこで確認したらいいんですかって使用前検査するのは、使用前検査とは別に構わないんですけど、
0:28:56	工認公認してるんだけど、工認側で、改良地盤をどういう位置付けで確認するんですか。
0:29:08	多分、規制のその枠組みの中に、
0:29:11	どこで確認するかっていうのがはまってくるかどうかっていうのは、ちょっと考えていただいた方がいいかなと思いますが、
0:29:20	私の言ってることを理解できますか。
0:29:23	原子力のセシモです

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:25	その小公認のところ枠組みのところ確かにご指摘の通りで、なかなかどこでこれを確認するんだっていうのは、
0:29:33	おっしゃってる通りだと思います。あと、ちょっとか教えていただきたいのは女川発電所3では強度のところの、本日お示ししてるんですね1軸と3軸の関係とか、
0:29:46	そのもろもろのその品質をどう確認。
0:29:49	どうやっていくんだっていうのを設工認の中で
0:29:53	強度のところですね、
0:29:56	いろいろ議論されているようなんですけども、
0:29:58	そこはすみません、あのね、基本的に言うと、
0:30:03	彼らを基礎地盤的に扱ってるけど、あくまでも防潮てに近いんですね。
0:30:09	いわゆる近づく麻生高台載っかってるんでしょ、斜面のところ、
0:30:14	の上に立っているので、津波はどういう形でぶつかるかっていうとまず斜面にぶつかってそのあとに、
0:30:22	どうしようとぶつかるんですね。そうすると、基本的に言うと、
0:30:27	多分、防護機能っていうのが、結局、結局、地盤にももともと求められるんですね。
0:30:33	いわゆる地盤だからといって、
0:30:37	津波防護機能がないって言ったそれは嘘になるんでそれを期待するように使って使用して使っていればですね、地盤をそういうふうにご利用しているのであれば、地盤も、
0:30:48	防護機能が関係してくるから、基本的に言うと
0:30:55	いわゆる公認で審査する場所っていうのが、あるかないかって、基本的には申請図書にどこに書き込む工学的、簡単に具体的に言うと、
0:31:06	書き込めるんですかっていうことに繋がってくると思うんですよ。そこもちょっと考えていただかないと。
0:31:11	例えばここって、
0:31:16	床応答に関係ありますかっていうと、
0:31:19	影響はないとは言えないけど影響ないようにと違って言うと、配慮して地盤改良の範囲決めようとしてますよね。
0:31:28	その話ってのは何となくまだ、
0:31:30	計算過程にないけど、ポンチ絵からするとそういうような配慮があるのかなとは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:35	見受けられますし、そういうことから考えると特に、あまりないですよね、実際に。
0:31:42	建物の応答つつつても、ある程度例えばもう具体的に言えば、
0:31:49	S H A K Eで水平成層として仮定してしまっただ地震動を入れて多分埋め込み効果を見たとしても、シフラッシュでやるわけじゃなくて、C9ですよ。
0:31:59	そういうことを考えると、何ら別に改良地盤の影響って、設計に何も出てくるわけでもないじゃないですか。その過程が変わらないように配置したいというのも、よくわかりますし、そちらのね、
0:32:11	途中からすれば、
0:32:13	そうすると、
0:32:14	工認図書でどこに記載しますか、具体的に言うと、そこまで考えておかないと、
0:32:20	後で困りますよ、多分。
0:32:28	原子力をセシモです
0:32:31	指摘によっていいとは理解しました。ただちょっと、どの程度の労働で書き込むかというところはちょっと今すぐお答えできないところあるのでちょっとそこは検討させていただきたいと思います。
0:32:43	はい。ほ私らも同じような観点で7ページをご覧いただきたいと思うんですけども、今購入施設工認段階で改良体の仕様の決定っていうのがあって、これは、
0:32:55	さっきも話が出たと思うんですけども施行人で審査する項目、これないんですよ。
0:33:01	なので、
0:33:03	じゃあ許可に戻るんですかと言われたらそれも困るじゃないですか。そうですね。なので、さっきコメントがあったようにですね、これは例えば混合率でいったらじゃあ配分はどのぐらいの割合以上にするとか、
0:33:14	あとの強度でお約束をするのか。
0:33:17	そういった多分工夫が必要になって、もう一つね23ページで、
0:33:23	公認で品質管理方針云々かんぬんって書いてあるんですけどもこれまで、多分、要は使用前検査の前提条件的なものかなと私は何か認識していて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:33:34	ある程度のその方針というのをやっぱり許可の段階で頭出しをしておかないと、設工認で書きづらいんじゃないかなというふうに思っています。
0:33:43	従ってこの書きぶりですね7ページのところの書きぶりなんですけれども、これ項目はもう多分許可ではお約束した上で、具体的にはこうしますっていうのは購入の中で、どこに書くのかというのは先ほど来からご議論があるように、
0:33:57	ちゃんと考えたい欲しいんですけども、多分、どう考えてもいわゆる、皆さんでいうと、
0:34:05	本文使用表みたいなものは出てこないわけですよこれはね。なので、
0:34:12	頭書きのところ何か書いていただくのか、使用前検査にあたってのなんかねその前提条件的な要件としてこういうことができた上で、検査を受けますみたいになるのかどうかと。
0:34:22	ここはやっぱり、今後の最終的な落としどころも含めてですね書いておいていただいた方が、私もいいんじゃないかなと思いますけどいかがですか。
0:34:34	現職のセシモです。
0:34:37	了解しましたちょっと書き方につきましては
0:34:41	ちょっと検討させていただきたいと思います。次は要は設工認段階のマーケ検査項目。
0:34:48	とは言わないまでも、そういう何を検査すればいい、いいんだというところがわかるような内容を、
0:34:59	取り込んでおくということ。
0:35:02	と理解しました。そうですね7ページでいくところの、最後の施工段階というところにある、最終的に検査で見てもらいたいのは多分強度とかは、範囲の確認とかそういうことだと思うんですけども、
0:35:14	それにあたってきちんと、
0:35:17	何ていうか施工管理ができた上で、こういう施工をやっています的なね、ものが多分必要なんだと思うのでそこが設工認のどこかに多分書いておかないと、
0:35:27	前提条件にならないんじゃないかなという気がしますので、設工認段階では、多分、意思表示をするというそんな感じなんじゃないかな。審査項目超え、さっき言ったように何ですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:38	何を見たらいいんですか、どこに書けばいいんですか問題が多分、施行に行った時にも困ってしまうと思うので、その辺り許可に戻らないような工夫をしておいていただくというのが多分必要だと私は思います。
0:35:55	塩川石松失礼しました。あれも、すいませんもう一度確認ですが今おっしゃっていただいたのは、設置許可段階にある程度書き込んだ上で、
0:36:05	設工認、
0:36:08	設工認でも書く。
0:36:12	なんか設工認そどこに書くんだというのはちょっと悩ましいなというわけですが多分ですね障害ケースあって、工認通りっていうことを確認するわけですね、簡単に言うと、シナリオというと、
0:36:24	なので、基本的に
0:36:29	まず
0:36:30	工認通りだって言ったその工認通りのその工認のそのものがどこで確認された話なのかっていうことだと思うんですよ。それがあある程度もう、
0:36:40	そこの設置許可の三条の話なんで三条の設置許可も書いて書いてあることは、多分、その工認がどこに書くか。
0:36:54	なんだっけ、J。
0:36:56	地盤支持性能化、地盤の支持性能の基本方針とかあの辺にみんな書いている。
0:37:02	発電所が多いとは思いますが、多分そこっていうのは多分検査が見ないんですよ。だから、本文とか、割と近いところまた設置許可等の関係性の、
0:37:13	その本文に近いところみんな見ていくわけですし、検査って、そこであるっていうものがあればそれはその補足説明資料にしてもその添付資料の購入添付資料でも、
0:37:23	見るわけですよだからその仕掛けがまずなかったりすると、わからない。だから、どちらもいずれもその設置許可で、もう確認されてるものが多分、カルテ行に、
0:37:33	にスライドされていて、それは使用前検査んを受けるべき。
0:37:38	配られているという資料がわかるようにしとけばいいだと思うんです。手続き論だと思うんですかね。
0:37:43	それと使用前検査では工認通り稼働に書いてないとわからないって話になりますし、ただ工認のチームの方からすれば、検査項目でもないケースはください。各審査項目でもないのに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:56	どこに記載するのって話になると思うんで、それは設置許可の段階から、そのしかけてと手続き論にはなるんですけど、その仕掛けを考え、仕組みを考え、仕掛けとか仕組みを考えておかないと、
0:38:09	先行他地域の館からなる可能性があるんで、
0:38:14	基本的には高に行った段階で設置許可にははねないよっていうことが必要になると思いますんで、その辺をよく考えていただいて、あくまで手続き論ですから、
0:38:24	ちゃんとスムーズに、そう主要米が受けれるように、
0:38:29	考えていただければと思います。
0:38:33	原子力の専門です。ありがとうございます。ちょっと、
0:38:37	その仕掛けはちょっと内容でちょっともう少し議論をさせたいと思います。
0:38:45	一応もう念のための念のためなんですけども多分、使用前検査で見るのは許可の時に約束した中身がほぼ、その通りになってますかということになろうかと思います。
0:38:55	ただ先ほど江崎さんからもコメントありましたけれども規則上は、市販の衛生施工認の通りせんというのが判断基準になってるはずなので、
0:39:06	その下、どこに落とし込むのかということとその落とし込み前に、きちんと全部許可に書かれていないと、施工の段階で何か審査してくれと言われても多分誰も見てくれないので困りますよと、そういうことを申し上げてるつもりです。
0:39:19	以上です。
0:39:36	規制庁矢崎ですがその施工方法とかちょっと厳密に書く必要はないので、
0:39:41	約束する趣旨を取りかえてあるような、その品質管理項目とかそういったものを、どういった
0:39:50	何ていうんすかね頻度でやるかって、各ぐらいと思うとその頻度もそう。
0:39:56	夏井書くわけじゃなくて多分どこも、
0:40:00	例えばこの、
0:40:02	広報協会、
0:40:03	ガイドにデータが2万立米に1本とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:08	いろいろ書いてありますよね。1万立米日本とかでそのぐらいの話は多分、最低ラインとしてやるって話になると思うんですけど、スタッフもそれ以上やるとか、そういったような、
0:40:19	今、現実的に、施工計画立てないからそこを話そうと思ったらとてもじゃないけど、
0:40:25	時間がないし、先行きかなり検討しないと難しいってありますよね。当然干渉物がたくさんあるでしょうから、既設発電所だから、
0:40:35	そういったことを私たちも止めるつもりはないので、ある程度、さっき言ったように、何をしますかということで、結局、じゃ何があれば、
0:40:45	何がどれぐらいの数字であればOKなのかっていうぐらいの話までは明確にしとけばいいんだと思うんですよね。
0:40:53	大きな縛りをつける、縛りつけるつもりはないので、
0:40:59	原子力をセシモです。ありがとうございますちょっとそこは
0:41:03	検討したいと思います。
0:41:05	あと、ちょっとあと我々の都合として、
0:41:08	都合というかありますか、今現在
0:41:10	詳細設計をやっている段階なのと、あと実際施工に入った時には
0:41:16	なかなか、
0:41:17	そのある特定のメーカーを否定して発注というのはできないところがあって、本当にこの回収のところまでは否定できないという、ちょっと機構としての事情があるんでちょっとそここのところの仕様の記載はちょっと、
0:41:31	工夫しながら必要最低限というか、必要なものを指定するというのをちょっと工夫はし、しておきたいなと思います。
0:41:57	大前ですけども、今日ちょっと欠席の仲村の方からですね幾つかちょっと確認したいことが来てますので、確認させていただきますが、もうすでに
0:42:09	出た話が二つあって、まずは先ほどあった配合の件。
0:42:14	というのを確認したいというふうにナカムラ買う。
0:42:17	受けてます。あとは、その際に入れる、固化剤ってこれ東北電力とかを考えてセメントミルクでよろしいんですかね。
0:42:26	その通りです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:28	わかりました。あと1点はですね、地下水と今回の改良範囲の関係性でいうと、ちょっとTVで書いてるからすぐわかんなかったんですけども、
0:42:39	これは地下水のところは上という理解でよろしいですか。
0:42:43	地下水の上です大体GLから30メートルぐらいのところが、
0:42:50	通常の地下水になってますので、そういう関係になってございます。
0:42:54	はい、わかりました。ナカムラからの確認を代理で確認させていただきました。
0:43:08	すいませんイワタですけど幾つか基本的なことで教えて欲しいんですけども、13ページでですね4.5メートルのところまでは0になっていて、その生データというかですね、次、明日ごめんください。
0:43:22	参考資料の中の20、30ページからですかね、熱電対の測定結果ちゅうのが乗っかってるんですけども、これマルバツの判定基準ってのは一体何度なんでしょうか。
0:43:36	小コンセッションです名カクウではね大体40度ぐらいを目安に、
0:43:42	また、40度ぐらいを目安とあと急激に
0:43:45	到達計算上到達する時間に対して、急激に温度変化があったというところを見てマルバツの判定をしております。
0:43:54	そうするとこの造成開始から造成終了のところは40度ぐらいになってれば大体0というそういう見方をするということですか。
0:44:02	はい。その通りでございます。はい、わかりました。そのあとの温度の上昇なんかも見つつ
0:44:10	はい。
0:44:11	これ、何か上がり過ぎちゃいけないとかそういうこともあるわけですね。
0:44:16	いや、そこを
0:44:18	主要反応なのであまりないですとします。
0:44:32	はい、ありがとうございます。
0:44:33	それともう一つですね先ほども少しコメントがあったところの試験施工の改良体を用いた試験の中で、これは場所によってはですね、例えば、
0:44:47	20ページだと湾口B湾口という、具体的な数ものが出てるんですけども、一番外側の、
0:44:55	通行っていうのは何か使って試験ってのはしてるんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:01	原子力を指します。通行はあのし今回の死刑人結果としては使っておりません。
0:45:08	建築センターの一般的な指針なんかでもやはり中心位置での物性Gで評価をするという記載がございましたのでその中心で今回は評価をさせていただきます。
0:45:21	はい。聞いた趣旨はですね、先ほどもありました通り、この4.5メートルまでは概ね使えるという結果になってますということでA I I っつのはまさにその4.5メートルの辺りの、
0:45:32	コアですよねということがあったので、これは内側と外側で、
0:45:38	何て言うんすかね。
0:45:40	物性値が何かを急激に変わるとかそういうことはないわけですがこの、あくまでもその判定基準として0になっておれば、内側でも外側でも、特にその優劣でなく、
0:45:50	判断ができるとそういう理解でいいんですかね。
0:45:55	原子力のセシモです改良体として
0:46:00	その範囲が、今回言えば4.5メートル範囲が核的に海洋できているので、または、
0:46:06	管理に対してはほぼほぼ均一だろうという判断でございます。
0:46:10	はい、わかりました一応そういう原理原則のもと、そういったガイドに書いてある内側のもので、判断をしましたとそういう流れになっているということで、理解はいたしました。
0:46:23	あと今回先ほども質問があったんですけども7ページのところで、
0:46:29	範囲については次回セットで見ますよということだったんですけども、余計な心配かもしれませんが、当然その最終的な結果がね、0になれば、その範囲というのは妥当だということ。
0:46:42	なので、一応、そこまではセットで評価をするということをちょっとすいませんけどいようです年度ため一応聞いておきたかっただんですけども、物性値刀禰範囲を設定した上で、
0:46:53	じゃあここまで決まったんで計算しましょうねっていうのが何となく普通の流れかなと思ったんですけども、そうではなくて結果も見つつ、範囲を決めるとそういう流れで評価をするという、
0:47:03	理解でいいんですか。
0:47:06	原子力のセシモですもう範囲も当然今の結果を見て我々としては想定しているところが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:14	ありますので、そこは資料の方には取り込むことは、
0:47:19	可能ですねちょっとそこは
0:47:21	そのセットの方が説明性が、
0:47:24	説明司会よろしいいというか、
0:47:27	予定であるべきだというところであればその資料の方に追加させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。はい。もし決まってるのであれば、何か私の理解はですね物性値が決まってこの範囲を改良します。この
0:47:40	そういう前提のもとに評価をしても、ちゃんと1.5を超えますよというのを次回説明しますよという方が何となくわかりやすいと思ったんですけども、
0:47:49	逆になんて言うかね、1.5なんかこういった計算をしながら範囲を決定していくみたいに見えてしまうとあまりよろしくないかなと思ったんですけどそこは皆さんの説明のやり方だと思いますけれども、
0:48:01	わかりました。そうですね確かに何かちょっと、
0:48:06	何と1.5ねらいながら少し汎用、ちょっと何か、
0:48:10	ていうわけではなくてきちんと
0:48:12	整理するものを
0:48:14	範囲を設定しているというところがある方が、説明すればいいと思いますのでちょっと検討します。はい。わかりました検討していただいでですねもし資料がもう入れられるのであれば入れていただければと思いますので、よろしくお願いします。
0:48:39	J A建設部の中西ですが、改良範囲の方は9ページのポンチ絵で示しているのが実際に
0:48:46	このような対応範囲になっていて、東側と西側で、今
0:48:54	本日、設定した物性値で今解析をまさにやっているところで、結果として7メートルはバーのカバーで、両サイドですね。
0:49:06	計14メートルの幅が改良範囲が確保できれば、体力的に安全率で約2.0を確保できるというところは見通しをていて、
0:49:19	最終的なそういうところの品証チェックも含めて、9月に評価結果を提示するというところで幅野法というのはもう
0:49:28	見込みがついていても、7メートル程度の幅というのは
0:49:32	試算でも出ている状況です。そういうところをちょっと文章の中に盛り込むという形をちょっと考えたいと思っています。はい。規制庁岩田で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	すありがとうございます。大体わかりましたが前半に出てくる9ページのところはかなりちょっとポンチ絵チックなので、少なくとも例えば12ページのですね平面図とかですねこんなものも使いつつ、
0:49:52	深さ方向値は出てないんですね、具体的な寸法とかを入れていただけるとより、イメージが湧くんじゃないかと思えますけれども、それはすぐに対応できますか。
0:50:03	原子力のセシモさんのモデルがありますので、そそんなのを使いながら、きちんとした寸法を入れるということでちょっと資料追加する形で検討したいと思えます。
0:50:16	はい、わかりましたじゃそんな形で対応お願いできればと思えますが、
0:50:22	一方でですねこれ審査会合なんですけれども、
0:50:25	今週の金曜日ってできそうですか。
0:50:32	はい。原子力のセシモです。今のところは対応した上であげたい、お願いしたいと思えます。わかりましたすでにHTTRの審査会合を予定しているのもそれとセットでですね、やってしまった方が、
0:50:45	皆さんのスケジュール感も含めていいんじゃないかと思えますので、その辺りの対応をぜひお願いしたいと思えます。
0:50:51	あと、これ時間、
0:50:55	はい、じゃあすいませんちょっとロジ的な話ですけども説明時間ってどのぐらいかかりますか。
0:51:03	石岡能勢主務15分ぐらいをいただければと思えます。はい、じゃあ15分ですね。わかりました。じゃあHTTRが資料1になるんですよ。なので資料2ということで、準備を進めていただければと思えます。
0:51:24	はい。あとは
0:51:27	いつもらえるとかそういうのは、
0:51:29	ないですけど資料で聞けば明日の午前中にいただければと思うんですけども、一番議論になったところで、当然会合の議論になると思うので、間に合わなければそこはもう、会合の場で、今のままのバージョンでやる方が、
0:51:44	透明性という観点でもいいと思えますので、簡単のところだけ直して、余裕があれば、7ページも手をつけるようなイメージやっていただければと思うんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:51:55	はい。原子力音声示せと。そうですね7ページはちょっともう少しこちらでも議論したいところがありますのでちょっとコメントをいただいた上で、ちょっと
0:52:07	当日はちょっと検討させていただきますみたいな回答しかできないと思うんですがちょっとそこはそうですね、すみません言い方ですけどおっしゃった通りで中でね、十分に議論した上で多分書いた方がいいと思うので
0:52:19	体裁のところは直していただくのと、あと必要な図面を追加していただくという、最低限の対応をしていただければですね、それでし会合した上で、先ほど来議論があったところについては改めて会合でもコメントするようにさせていただきます。
0:52:35	明日は、
0:52:40	はい、規制庁側から大体このぐらいなんですがJ A側から何かありますか。
0:52:49	建設がわかりませんが中が何かありますか。
0:52:54	東条も特にございません。
0:52:59	等間隔で取っとくんですけど、もう一度確認しますと、ロジですけど資料は下の午前中これから追加して確認してさっきの品証チェックで確認して印刷となるんで明日のまた、
0:53:13	恐縮ですけども昼直前ぐらいに持ち込みということで、させていただきますということでよろしいでしょうか。はい。結構でございますよろしくお願いいたします。
0:53:22	はい。では明日比留間にお持ちしますのでよろしくお願いいたします。
0:53:26	よろしければ以上にしたいと思います。どうもありがとうございました。お疲れ様でした。
0:53:32	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。